

新春を迎えて

公益社団法人 岐阜県都市整備協会

会 長 細 江 茂 光



平成25年の新春を迎え、謹んで年頭のお祝詞を申し上げます。

会員の皆様におかれましては、平素よりまちづくりの推進にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成23年に発生した東日本大震災の影響を受けた被災地では、ボランティアをはじめとする国民の総力を結集した復興が進む一方、長引く経済の低迷や少子高齢化などの進展により、今後も厳しい社会経済状況が予想されます。

こうした中、市街地整備においては、環境と共生した持続可能な循環型社会を構築し、コンパクトな市街地に再編して都市構造の集約化を実現することが求められております。

また、地域住民の積極的な参加を得て、地域が共有するビジョン・目標のもと、連携・協働して市街地整備を進める必要があります。

これらの課題に対応するためには、土地区画整理事業や市街地再開発事業等による、活力のある社会の形成と安全で豊かな生活を可能とするまちづくりが期待されているところです。

平成24年6月1日に公益社団法人として新たにスタートした当協会は、公益性の高い責任のある法人として、これまで以上に、会員の皆様のまちづくりを補完支援することにより、魅力と活力あふれる市街地が形成されるよう、社会的役割を適切に果たさなければなりません。

今後とも、会員の皆様の様々な要望に的確に応えるため、役職員が一丸となって「情報の収集・提供」、「研修・講習会の開催」、「普及・啓発」、「調査研究・受託業務」等の事業を、全力で推進する所存であります。

引き続き、会員の皆様のご協力を賜りますとともに、積極的なご活用をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後となりましたが、本年が皆様にとりまして、より実り多く豊かな年であることを祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。